

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	保健Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	保健Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科/ヘアメイク科	2	60
使用教材	保健Ⅱ		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識の習得する。				
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明できる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	西田 順子	実務経験		○	
実務内容	公立病院にて約20年間、病棟、外来、手術室の看護業務と主任にて新人教育。学生指導をおこなう。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人体の構造および機能の復習 (第1章～2章)	美容師免許を取得する必要性 頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格器系の演習(国家試験過去問題)と解説
2	人体の構造および機能の復習 (第3章～4章)	筋系、神経系の演習(国家試験過去問題)と解説
3	人体の構造および機能の復習 (第5章～6章)	神経系、血液・循環器系の演習(国家試験過去問題)と解説
4	人体の構造および機能の復習 (第7章～9章)	呼吸器系、消化器系の演習(国家試験過去問題)と解説
5	皮膚科学(第1章)	皮膚の構造
6	皮膚科学(第2章)	皮膚付属機関の構造(毛)
7	皮膚科学(第2章～3章)	皮膚付属器官の構造(皮脂腺、汗腺、爪) および皮膚の循環器系と神経系

8	皮膚科学（第4章）	皮膚と付属器官の生理機能
9	総まとめ	総まとめを実施する
10	皮膚科学（第5章）	皮膚と皮膚付属器官の保健
11	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 （皮膚の異常とその種類～皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹）
12	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患（日光皮膚炎～分泌異常による疾患）
13	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患（化膿菌・ウイルス・真菌による皮膚疾患）
14	解説 皮膚科学（第6章）	振り返り・解説 衛生害虫による皮膚疾患～皮膚の腫瘍
15	総まとめ	総まとめを行う
16	皮膚科学の復習（第1章～2章）	皮膚の構造と皮膚付属器官の構造の演習と解説
17	皮膚科学の復習（題3章～4章）	皮膚の循環器系と神経系および皮膚と付属器官の生理機能の演習と解説
18	皮膚科学の復習（第5章）	皮膚と付属器官の保健の演習と解説
19	皮膚科学の復習（第6章）	皮膚と付属器官の疾患の演習と解説
20	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
21	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
22	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
23	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
24	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
25	まとめ	まとめを実施する
26	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
27	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
28	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
29	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	文化論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	文化論Ⅱ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科		30
使用教材	文化論		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界人として必要な理容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる日本・西洋のファッション文化史の流れを習得する。				
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	竹松 香織	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代（明治・大正・昭和20年まで）	明治・大正・昭和の髪型・服装について
2	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代（明治・大正・昭和20年まで）	明治・大正・昭和の髪型・服装について
3	第3章ファッション文化史日本編 第7節 現代Ⅰ（1945～1950年代）	明治・大正・昭和の髪型・服装について
4	第3章ファッション文化史日本編 第7節 現代Ⅰ（1945～1950年代）	明治・大正・昭和の髪型・服装について
5	第3章ファッション文化史日本編 第7節 現代Ⅰ（1945～1950年代）	現代Ⅰ（1945～1950年代）の髪型・服装・化粧について
6	第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅱ（1960～1970年代）	現代Ⅱ（1960～1970年代）の髪型・化粧・服装について
7	第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅱ（1960～1970年代）	現代Ⅲ（1980～1990年代）の髪型・化粧・服装について

8	第3章 ファッション文化史日本編 第8節 現代II (1960～1970年代)	現代IV (2000年代以降)
9	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
10	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
11	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
12	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
13	まとめ	まとめを実施する
14	テスト解説 第3章 ファッション文化史日本編 第9節 第10節	テストの振り返り・解説 1980～2000年代の髪型・化粧・服装について
15	総まとめ	総まとめを行う
16	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
17	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
18	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
19	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
20	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
21	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
22	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
23	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	運営管理		
必修選択	必修	(学則表記)	運営管理		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科	1	30
使用教材	運営管理		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容経営者として活躍する上で必要とする知識の基礎を理解する。				
到達目標	自身で生活の中から知識や理論を深めることができる。働く者の立場と、経営者の立場のを理解し、キャリアプランに組み込んでいくことができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	森岡 美雪	実務経験		○	
実務内容	流通業において総務・人事関連業務（労務管理、社員教育等）11年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション	講師自己紹介/運営管理の授業の概要・価値/授業の受講ルールを理解する
2	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第1節 第2節	経営とは何か・継続企業の原則、経営の必要性を理解する
3	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第3節 第4節	経営資源と経営計画を理解する
4	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第5節 第6節	経営戦略とは何か/良い店の実現を理解する
5	第2章 理容業・美容業の経営について第1節 第2節	業界の概要について/競争の変化を理解する
6	第2章 理容業・美容業の経営について 第3節 第4節	サービスについて/理容業・美容業の顧客についてを理解する
7	第1編 第3章 資金の管理 第1節 第2節	資金管理の重要性と資金の流れを把握/収支と損益を理解する

8	第1編 第3章 資金の管理 第3節 第4節	収支と損益、会計の意味や考え方 コストを管理することを理解する
9	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金①税金の種類と支払うタイミングを理解する
10	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金②税金の申告 青色申告と白色申告を理解する
11	第2編人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源	人という資源・労働者の権利 やる気とは何か、給与の役割、福利厚生を理解する P50～P61
12	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章健康・安全な職場環境の実現	健康・安全な職場環境の実現①健康診断
13	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章健康・安全な職場環境の実現	健康・安全な職場環境の実現②理美容業の健康問題
14	まとめ	前期授業習得度の確認・前期定期試験
15	振り返り	回答&解説
16	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第1節 第2節	社会保険①国民年金を学ぶ
17	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第2節	社会保険①厚生年金を学ぶ
18	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第3節	社会保険②健康保険を学ぶ P80～P83
19	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第3節	社会保険②国民健康保険・介護保険を学ぶ P83～P85
20	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第4節	社会保険③雇用保険を学ぶ
21	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第4節	社会保険③労働者災害補償保険・マイナンバー制度を学ぶ
22	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から	後期授業習得度の確認
23	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	価値の実態1～3 価値の構造を理解し、システムを学ぶ
24	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	価値の実態4～6 価値の役割を理解し、人の役割を学ぶ
25	第3編 顧客のために 第2章 マーケティング	マーケティング① マーケティングミックス（短期的要因）を学ぶ
26	第3編 顧客のために 第2章 マーケティング	マーケティング② マーケティングミックス（長期的要因）を学ぶ
27	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	接客の実践①～④ P124～P135
28	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	接客の実践⑤接客におけるトラブル対応
29	総まとめ	後期授業内容の習得度の確認
30	解説 総まとめ	後期筆記内容の解説 運営管理授業全般の総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容技術理論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容技術理論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科	2	60
使用教材	美容技術理論Ⅱ		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。				
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小松 美香子他2名	実務経験	○		
実務内容	株式会社Grand、株式会社ロイヤルにて13年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	≪ 8章 エステティック ≫ 1. エステティック概論 2. 皮膚の生理と構造 3. カウンセリング 4. 美容におけるマツサージ理論	・エステティックの歴史、範囲、心得、注意点・皮膚の構造・カウンセリングの目的・実際、エステティックにおける カウンセリング・基本手技
2	5. フェイシャルケア技術 6. フェイシャル及びデコルテマツサージ 7. フェイシャルバック 8. ボディケア技術 9. ボディマツサージ	・フェイシャルの効果、方法・デコルテ、フェイシャルの手順 マツサージにおける手の動かし方と操作ポイント
3	≪ 9章 ネイル技術 ≫ 1. ネイル技術概論 2. ネイル技術の種類 3. 爪の構造と機能 4. 爪のカット形状 5. ネイル技術と公衆衛生 6. カウンセリング	・ネイルケア、アーティフィシャルネイル、ネイルアート・爪の構造と機能・爪のカット形状・消毒方法の種類、器具 の消毒手順、テーブルセッティングの一例・カウンセリング
4	7. ネイルケア 8. アーティフィシャルネイル 9. 手と足のマツサージ	・ネイルケアの道具、マニキュア・ペディキュア技術の手順・アーティフィシャルネイル技術の道具、プレパレーション の手順、ナチュラルネイルオーバーレイ技術の種類、ジェル技術の手順、シルクラップ技術の手順・グルー&フィ ラー技術の手順、アーティフィシャルネイルの追加とオフ・ハンドマツサージのポイント・手順、フットマツサージの ポイント・手順

5	<p>≪ 10章 メイクアップ ≫</p> <p>1. メイクアップ概論 2. 顔の形態学的な観察 3. メイクアップと色彩 4. 皮膚の生理と構造 5. メイクアップの道具 6. スキンケア 7. ベースメイクアップ</p>	<p>・メイクアップ概論（サロンワーク・スタジオワーク）・顔のプロポーション、顔の骨格と筋肉、顔の立体研究、メイクアップによる立体感、顔の凹凸に基づいたブロッキング・色の三属性、マンセル表色系による色の分類、角度配色・皮膚の生理と構造・メイクアップの道具 ・クレンジング、トーンング、プロテクティング・ファンデーションの目的・選び方、塗り方と順序の一例、多色塗り、ハイライト、ローライト、カバーホワイト ベースメイクのアクセントカラー・パウダリング</p>
6	<p>8. アイメイクアップ 9. アイブrouメイクアップ 10. リップメイクアップ 11. ブラッシュオンメイクアップ 12. まつ毛エクステンション</p>	<p>アイライン、アイシャドー、カラーアイシャドー、パウダーアイシャドー、アイラッシュカール、マスカラ つけまつ毛のテクニック・眉の整え方、ドローイング、シェーディング ・リップの丸みのある描き方、鋭角的な描き方、ブラッシュオンメイクアップ ・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項、施術の一例</p>
7	<p>総まとめ</p>	<p>テストを実施する 8章～10章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題</p>
8	<p>≪ 11章 日本髪 ≫</p> <p>1. 日本髪の由来 2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴 4. 日本髪と調和</p>	<p>・日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和</p>
9	<p>5. 日本髪の装飾品 6. 日本髪の結髪道具 7. 日本髪の結髪技術 8. 日本髪の手入れ 9. かつら</p>	<p>・日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具・日本髪の結髪技術 ・日本髪の手入れ・かつら（かぶせ方、飾り方、付け方、簪の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ）</p>
10	<p>≪ 12章 着付けの理論と技術 ≫</p> <p>1. 着付けの目的 2. 礼装 3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ 5. 帯 6. 小物 7. 着物各部の名称 8. 着物のたたみ方</p>	<p>・着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節・着物のいろいろ ・帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方</p>
11	<p>9. 着付けの一般的姿勢 10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術 12. 帯締め、帯揚げの結び方 13. 男子礼装羽織、袴着付け技術</p>	<p>・体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締めの結び方の一例、帯揚げの結び方の一例、男子礼装羽織、袴着付け技術</p>
12	<p>14. 羽織のひもの結び方 15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項 17. 和装花嫁 18. 洋装花嫁(ウエディングドレスの知識)</p>	<p>・羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ、不測の事態に備える、緊張をほぐすための細かい配慮、花嫁の動作に注意する、機敏な動作・和装花嫁・洋装花嫁</p>
13	<p>まとめ</p>	<p>まとめを実施する 11章～12章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題</p>
14	<p>解説</p>	<p>まとめの振り返り・解説</p>
15	<p>美容技術理論Ⅱ 総まとめ</p>	<p>美容技術理論Ⅱ 総まとめを行う</p>
16	<p>美容技術理論Ⅰ 序章・1章</p>	<p>美容技術理論を学ぶにあたって・美容道具 重点項目振り返り</p>
17	<p>美容技術理論Ⅰ 2章・3章</p>	<p>シャンプーイング・ヘアデザイン 重点項目振り返り</p>
18	<p>美容技術理論Ⅰ 4章・5章</p>	<p>ヘアカッティング・パーマントウエーピング 重点項目振り返り</p>
19	<p>美容技術理論Ⅰ 6章・7章</p>	<p>ヘアセッティング・ヘアカラーリング 重点項目振り返り</p>
20	<p>美容技術理論Ⅰ 総まとめ</p>	<p>美容技術理論Ⅰ 総まとめを行う</p>
21	<p>対策</p>	<p>美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習</p>
22	<p>まとめ</p>	<p>まとめを実施する 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題</p>
23	<p>美容師国家試験対策</p>	<p>美容師国家試験過去問の演習と解説</p>

24	美容師国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	美容師国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	まとめ	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
27	美容師国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	美容師国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	美容師国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	関係法規・制度		
必修選択	必修	(学則表記)	関係法規・制度		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科	1	30
使用教材	関係法規・制度		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。				
到達目標	美容の業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、国家試験に対応できる学力の習得を目的とする。				
評価基準	テストおよび小テスト：80% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	森岡 美雪	実務経験		○	
実務内容	流通業において総務・人事関連業務（労務管理、社員教育等）11年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1章 法制度の概要 第1節 第2節	美容師免許取得までの流れ、国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明 社会における法の役割 日本の法令体系
2	第1章 法制度の概要 第3節 第4節	衛生法規の仕組み 美容師法と附属法令
3	第2章 衛生行政の概要 第1節 ～ 第3節	衛生行政を担う行政機関・保健所の役割
4	第3章 理容師法・美容師法 第1節 第2節	「美容師法」の目的 「美容師法」で用いられる用語の定義
5	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許取得までの過程
6	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許の申請と欠格条件
7	まとめ	まとめを実施する

8	解説	振り返り・解説
9	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師に求められる義務
10	第3章 理容師法・美容師法 第3節	免許の変更等があったときの手続き
11	第3章 理容師法・美容師法 第3節	管理美容師
12	第3章 理容師法・美容師法 第4節	美容所の開設に必要な届出・検査
13	第3章 理容師法・美容師法 第4節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
14	まとめ	まとめを実施する
15	解説・総まとめ	振り返り・解説
16	第3章 理容師法・美容師法 第5節	立入検査と環境衛生監視員
17	第3章 理容師法・美容師法 第6節	違反者に対する行政処分
18	第3章 理容師法・美容師法 第7節	違反者に対する罰則
19	第4章 関連法規	美容業の運営に関する関連法規
20	第4章 関連法規	美容業の衛生・顧客に関する関連法規
21	まとめ	まとめを実施する
22	解説	振り返り・解説
23	第1章 第2章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
24	第3章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
25	第4章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
26	まとめ	まとめを実施する
27	解説	振り返り・解説
28	総復習（1）	国家試験過去問演習等
29	総復習（2）	国家試験過去問演習等
30	総まとめ	総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	衛生管理Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	衛生管理Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科	2	60
使用教材	衛生管理		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面についての理解する。				
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけでなく、業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	竹内 和美	実務経験		○	
実務内容	動物病院や研究所等では獣医師として衛生管理に基づいた業務に従事				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第4編 衛生管理技術 1章消毒法総論	消毒法とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
2	第4編 衛生管理技術 1章消毒法総論	消毒法とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
3	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法の消毒方法 消毒条件・特徴、すぐれた消毒法と実施上の注意
4	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法の消毒方法 消毒条件・特徴、すぐれた消毒法と実施上の注意
5	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(1)	消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
6	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(1)	消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
7	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の清潔法の実際

8	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の清潔法の実際
9	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領①	第1～第4 衛生的取り扱い等
10	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領②	第1～第4 衛生的取り扱い等
11	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領③	第5～第6 自主的管理体制
12	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領④	第5～第6 自主的管理体制
13	まとめ	まとめを実施する
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	公衆衛生	まとめを実施する
17	公衆衛生	まとめを実施する
18	環境衛生	まとめを実施する
19	環境衛生	まとめを実施する
20	感染症	まとめを実施する
21	感染症	まとめを実施する
22	感染症	まとめを実施する
23	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	化粧品化学		
必修選択	必修	(学則表記)	化粧品化学		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科		60
使用教材	化粧品化学		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容器具や化粧品等に関する科学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。 「美容保健」、及び「美容実習」と関連させながら、実際的な知識の習得する。				
到達目標	美容の化粧品化学・美容機器・化粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用できる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	谷口 雅信	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 1章 化粧品概論	美容師免許を所得する上での必要性、取得までの流れを説明
2	2章 化粧品原料	「化粧品の対象となる人体各部の性状」「水性原料」「油性原料」の解説と演習
3	2章 化粧品原料	「油性原料」「界面活性剤」「高分子化合物」の解説と演習
4	2章 化粧品原料	「色材」「香料」「その他配合成分」「ネイル、まつ毛エクステンション用材料」の解説と演習
5	3章 基礎化粧品	「皮膚洗浄用化粧品」「化粧水」「クリーム・乳液」「その他の基礎化粧品」「メイクアップ用化粧品」の解説と演習
6	4章 メイクアップ用化粧品 5章 頭皮・毛髪用化粧品	「メイクアップ化粧品の種類と剤形」「ベースメイクアップ化粧品」 「ポイントメイクアップ化粧品」の解説と演習 「シャンプー剤」「スタイリング剤」の解説と演習
7	まとめ	まとめを行う

8	5章 頭皮・毛髪用化粧品	「スタイリング剤」の解説と演習
9	5章 頭皮・毛髪用化粧品	「パーマ剤」の解説と演習
10	5章 頭皮・毛髪用化粧品	「ヘアカラー」の解説と演習
11	6章 芳香製品と特殊化粧品	「芳香・特殊化粧品」「特殊化粧品」の解説と演習
12	6章 芳香製品と特殊化粧品	「芳香・特殊化粧品」「特殊化粧品」の解説と演習
13	まとめ	まとめを行う
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	付録 化粧品化学を理解するための基礎化学 付録1～付録2	「物質の構成」「物質（水）の構成」の解説と演習
17	化粧品化学を理解するための基礎化学 付録3～付録5	「溶液とコロイド」「イオンと水素イオン指数」「物質の変化と化学反応」の解説と演習
18	化粧品化学を理解するための基礎化学 付録6～付録7	「酸化・還元反応」「タンパク質」の解説と演習 化学範囲の復習
19	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
20	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
21	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
22	化粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
23	化粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
24	まとめ	まとめを行う
25	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
26	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
27	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
28	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
29	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
30	国家試験対策	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - A		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	宮本 智栄 他4名	実務経験	○		
実務内容	美容室髪切処ICHIにて6年間の実務経験				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション オールウェーブセッティング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、美容師国家試験衛生(技術における衛生上の取り扱い) 1年次おさらい1段目～3段目、くりぬき(ウェーブ・リッジ)、計測27分
2	オールウェーブセッティング	1年次おさらい1段目～3段目、くりぬき(ウェーブ・リッジ)復習、計測27分～25分 4段目右リフトカール、5段目左リフトカール導入(手順、スライス、ピンング)、美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測25分～20分 4段目右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイポール導入
5	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイポール導入
6	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイポール復習、強化、7段目クロッキノールカール導入
7	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイポール、7段目クロッキノールカール復習、強化、7段構成全体のバランス

8	オールウエーブセッティング まとめ	オールウエーブセッティングまとめを実施する 1 段目～3 段目、くり抜き、4 段目右リフトカール、5 段目左リフトカール計測 2 6 分 6 段目メイボール、7 段目クロッキノールカール復習、強化、計測、7 段構成全体のバランス、美容師国家試験衛生
9	オールウエーブセッティング	7 段構成全体のバランス、各段、各カール再復習、計測 4 段目～7 段目カール 1 2 分 7 段構成計測 3 5～3 0 分、美容師国家試験衛生
10	オールウエーブセッティング	7 段構成計測 3 5～3 0 分 美容師国家試験衛生
11	オールウエーブセッティング	7 段構成 3 0～2 5 分 美容師国家試験衛生
12	オールウエーブセッティング	7 段構成 3 0～2 5 分 美容師国家試験衛生
13	オールウエーブセッティング	7 段構成 2 5 分 美容師国家試験衛生
14	オールウエーブセッティング 総まとめ	7 段構成 2 5 分 総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - B		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		60
使用教材	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	ワインディング：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 国家試験カット：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-D・美容実習Ⅱ-E				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「国家試験カット」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。 				
担当教員	小木曾 朗子 他7名	実務経験	○		
実務内容	Arti&Co(東京)のサロンにて5年スタイリストとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	初回授業 オリエンテーションワインディング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック（コーム、9ブロック）3分、全頭巻き30分
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック（コーム、9ブロック）3分、全頭巻き30分、ブロック3ブロック導入
4	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック3ブロック1分、全頭巻き30～25分
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック3ブロック1分、全頭巻き30～25分
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック3ブロック1分、全頭巻き30～25分
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック3ブロック1分、全頭巻き25分

8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック3ブロック1分、全頭巻き25分
9	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生 全頭計測20分でまとめを実施する
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
12	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
13	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
14	ワインディング 総まとめを実施する	ワインディング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

各回の展開【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション 国家試験カット	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらいカット手順再確認
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）16分（チェックカット込み）20分
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）16分（チェックカット込み）20分
4	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）16分（チェックカット込み）20分
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
9	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
11	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
12	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
13	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
14	国家試験カット 総まとめを実施する	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り 課題到達目標の確認

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - C		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディング教材一式 オールウエーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	ワインディング：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% オールウエーブ：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-A・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-E				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「オールウエーブセッティング」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。 				
担当教員	宮本 智栄 他4名	実務経験		○	
実務内容	美容室髪切処ICHIにて6年間の実務経験				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
4	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生

8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
9	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
12	ワインディング 総まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

各回の展開【オールウェーブセッティング】

回数	単元	内容
1	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
2	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
5	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
6	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
7	オールウェーブセッティング まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
8	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
9	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
10	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
11	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
12	オールウェーブセッティング 総まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-D		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	オールウエーブ教材一式 カッティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師技術試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第1課題カッティングの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する 美容師国家試験第2課題オールウエーブ技術について基礎を理解し習得する				
到達目標	国家試験第1課題レイヤーカット技術、第2課題オールウエーブ技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す				
評価基準	国家試験カット：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 各校フリー：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「国家試験カット」「各校フリー」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	小木曾 朗子 他7名	実務経験	○		
実務内容	Arti&Co(東京)のサロンにて5年スタイリストとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
4	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生

7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
9	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
11	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
12	国家試験カット 総まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-E		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディングまたはオールウェーブ教材一式 カッティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験 第1課題・第2課題・国家試験衛生合格レベルを習得する				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-A・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-D				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	石山 遥子 他9名	実務経験	○		
実務内容	東京都内美容室にて9年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
6	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第1課題・第2課題 まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 まとめを実施する

8	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第1課題・第2課題 総まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付け		
必修選択	必修	(学則表記)	着付け		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	教本・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも（モスリン（4点））・和装スリッパ（下着）・クリップ（2本セット）足袋		出版社	桜花出版 KWプロジェクト	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、・着付け3級（6月強制受験 免許強制） ・着付け2級（12月強制受験 免許任意） を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、一般財団法人京都きもの伝承文化協会の きもの着付け資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大塚桂子 他3名	実務経験	○		
実務内容	有限会社ピバーチェ取締役役員。30年間着付け教室を運営し、企業内研修も行う。婚礼事業で花嫁着付けに長年携わる。美容部員としてコーセー化粧品株式会社絵17年勤務。チーフとして店舗管理の実務経験あり				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方2	小紋の着付（裾線、衿合せ）、たたみ方を学び実践する
4	小紋の着せ方3	小紋の着付（お端折の作り方）を学び実践する
5	小紋の着せ方4	半幅帯（蝶結び）の結び方を学び実践する 小テスト（着物の名称）を実施する
6	小紋の着せ方5	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
7	小紋の着せ方6	小紋の着付を仕上げる（検定対策）

8	小紋の着せ方 7	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	着付け3級検定（小紋の着付と蝶結び（20分））を実施する たたみ方テストを実施する
11	座学 1	着物の名称と用語（プリント①②）について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する
13	座学 2	着物のTPO（プリント③④）について
14	小紋と名古屋帯	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
15	総合学習	小紋の着付（お太鼓結び）と総まとめを行う
16	振袖の着せ方 1	授業の流れ、到達目標について説明する、考査票の記入 補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
17	振袖の着せ方 2	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
18	振袖の着せ方 3	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
19	振袖の着せ方 4	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
20	振袖の着せ方 5	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
21	振袖の着せ方 6	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
22	振袖の着せ方 7	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
23	振袖の着せ方 8	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
24	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
25	検定試験	きもの着付け2級検定試験（振袖にふくら雀30分）を実施する
26	留袖の着せ方 1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
27	留袖の着せ方 2	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
28	紋服の着せ方	紋服について、紋服の着せ方について学び実践する たたみ方について
29	女袴の着せ方	女袴の着せ方について学び実践する
30	総合学習	国家試験対策として総まとめのテストを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	美容学生のための就活教科書		出版社	株式会社ADE CREATES	

科目の基礎情報②

授業のねらい	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。また、人間力が構築されて、社会人として自信をもって送り出せる人材				
到達目標	希望の就職先に内定				
評価基準	まとめ：10% 提出物・課題：50% 授業態度：40%				
認定条件	出席が総時間数3分の2以上ある者 成績評価が2以上のもの				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	田中裕美 他1名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	夢	2年生になって、ここからの目標・学校生活、就職について
2	人間力	人間関係の構築・就職活動（GWの課題）
3	人間力	集団行動の大切さ・就職活動の課題
4	夢	企業研究
5	人間力	プレゼンテーション・グループディスカッション
6	人間力	チームワーク（熱い動画）
7	夢	美容業界リサーチ

8	人間力・夢	就職先リサーチ・ディスカッション
9	人間力	チームワークとやりきる力
10	人間力	行事を通してのクラス、学年の団結の振り返りとこの先へ向けて
11	夢	美容業界の知識を深める
12	夢	若手実業家（動画）
13	夢	企業研究・話す力・聴く力、夏休みの課題について
14	夢	課題のプレゼンテーション
15	人間力	前期の振り返り（目標達成度の確認）
16	人間力	オリエンテーション（なりたい自分に向けて） レクリエーション
17	人間力	担任の想い
18	夢	一般常識
19	夢	社会人として求められているもの
20	人間力	愛される人材とは
21	人間力	メンタルトレーニング①
22	人間力	メンタルトレーニング②
23	夢	企業研究
24	人間力	感謝の気持ち
25	夢	企業研究
26	夢	CASEスタディ①
27	夢	CASEスタディ②
28	人間力	卒業してからの自分を想像する
29	夢	企業研究の総まとめ
30	夢	2年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - A		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ドライヤー、ブラシ類、スタイリング剤		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ベーシックを理解した上で応用カットに触れます。コンテスト挑戦の楽しさを学ぶ				
到達目標	デザインに必要な要素を取り入れて作品を完成させる				
評価基準	総まとめ30% まとめ20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「カット・パーマ・カラー」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	榮美容室 小森 貫治 他2名	実務経験	○		
実務内容	榮美容室 FUSION店長・・・カット、カラー、パーマのサロンワーク 実務経験14年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【デザインカット】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	サロンワークスタイル・クリエイティブスタイル モデルを使ったデモンストレーション
2	ベーシックカット	ウイッグ2台(使用済みのもの) コームとシザーで行なうオーバーコーム
3	ベーシックカット	刈り上げを使用したデザインカットの作り方
4	デザインカット1	ウルフレイヤースタイル 前半
5	デザインカット1	ウルフレイヤースタイル 後半
6	デザインカット1	仕上げ ブロードライ チェックカット
7	デザインカット2	レイヤードボブスタイル 前半

8	デザインカット2	レイヤードボブスタイル 後半
9	デザインカット2	仕上げ ブロードライ チェックカット
10	デザインカット3	マッシュスタイル
11	デザインカット3	マッシュスタイル仕上げ
12	卒業作品コンテスト	デザイン決め デッサン制作 ウィッグ仕込みスタート
13	卒業作品コンテスト	ヘアカラー仕込み
14	卒業作品コンテスト	ヘアカラー仕込み
15	卒業作品コンテスト	デザインカット

各回の展開【ベーシックメイク】

回数	単元	内容
16	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
17	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
18	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
19	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
20	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
21	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
22	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
23	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
24	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
25	錯覚	錯覚について導入、実践
26	色、質感	色、質感について導入、実践
27	色、質感	色、質感について導入、実践
28	フルメイク	フルメイクまとめテスト
29	フルメイク	フルメイクまとめテスト/振り返り
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ-A		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ-A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ドライヤー、ブラシ類、スタイリング剤 メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	メイク→スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	デザインに必要な要素を取り入れて作品を完成させる メイク→メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。				
評価基準	・ヘア50%（テスト20% 提出物15% 授業態度等15%） ・メイク50%（実技テスト20%、提出物15% 授業意欲15%）				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容実践Ⅰ-A 美容技術理論Ⅰ				
備考	・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・この科目は「カット・パーマ・カラー」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	村井里奈 他1名	実務経験	○		
実務内容	美容部員 お客様へのカウンセリング、タッチアップ、販売、商品検品、在庫管理				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【カット】

回数	単元	内容
1	ベーシック1	ロングレイヤーカット（レイヤーの理論・カットフォーム・シザー開閉の基本）
2	ベーシック2	ロングレイヤーカット後半～ポイントカラー～スタイリング
3	ベーシック3	ブロー
4	応用	マッシュウルフカット（グラデーションとレイヤーのコンビネーション）
5	応用2	マッシュウルフカット後半～フロントカラーリング～仕上げ
6	応用3	ツーセクション（ショートスタイルのデザインの幅を広げることが目的）
7	応用4	ツーセクション（デザインを引き立たせるカラーリング～ブリーチワーク）

8	応用5	ツーセクション仕上げ ブロー・スタイリング
9	応用6	パーマスタイル (カット&パーマ)
10	作品制作1	卒業作品テーマ発表 デザイン制作開始
11	作品制作2	コンテスト練習カット
12	作品制作3	コンテスト練習カラー
13	卒業作品コンテスト	コンテスト (カットの時間)
14	卒業作品コンテスト	コンテスト (カラーの時間)
15	卒業作品コンテスト	コンテスト (仕上げ・スタイリング) 作品発表&結果発表 終了式

各回の展開【ベーシックメイク】

回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめ/振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ-B		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	メイク道具一式、 メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト） スマホアプリ(VOGUE RUNWAY等)、雑誌 (VOGUE/MODE ET MODE 等)		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	特殊→ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする メイク→スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	特殊→トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身に付ける 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる メイク→メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。				
評価基準	・特殊メイク(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%) ・メイク(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容実践Ⅰ-B				
備考	原則、この科目は対面授業形式で実施する。				
担当教員	高木 弓奈 他2名	実務経験	○		
実務内容	美容師、美容部員の勤務経験あり				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーションベースメイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認ベースメイク導入、実践
2	ベースメイク② ポイントメイク	ベースメイク復習 ポイントメイク実践
3	年代別のメイク①	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
4	年代別のメイク②	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
5	年代別のメイク③	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
6	年代別のメイク④	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
7	年代別のメイク⑤	振り返り

8	トレンドメイク①	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践)テーマに合わせて行う
9	トレンドメイク②	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践)テーマに合わせて行う
10	スチールメイク①	フォトコンで行うメイク制作(実践)テーマに合わせて行う
11	スチールメイク②	フォトコンで行うメイク制作(テスト)テーマに合わせて行う
12	スチールメイク③	テーマに合わせた作品制作作品の振り返り
13	作品制作①	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
14	作品制作②	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
15	総合授業	まとめを行う

各回の展開【ベーシックメイク】

回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめ
14	フルメイク	フルメイクまとめ/振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ-C		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ-C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	エステ⇒教科書・クリエーナ化粧品セット・タオル類・消耗品類 メイク⇒メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）		出版社	エステ⇒日本エステティック協会、日本理容美容教育センター メイク⇒ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステ⇒身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。 メイク⇒スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	エステ⇒ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる。 メイク⇒メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。				
評価基準	・エステ(実技試験40%(フェイシャル20%・ボディ20%)授業態度・提出物10%) ・メイク(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、ブライダルメイク検定(任意) 認定フェイシャルエステティシャン、認定ボディエステティシャン				
関連科目	美容実践Ⅰ-C				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する				
担当教員	高木 弓奈 他2名	実務経験	○		
実務内容	美容師、美容部員の勤務経験あり				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ボディエステティックとは	1コマ：教員自己紹介・授業の方向付け、履修目標について解説 1コマ：1. ボディエステティックの目的と効果 2. ボディエステティックの流れ
2	接客マナー（相モデル）	1コマ：ベッドセッティング 1コマ：笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい 1コマ：基本動作・ベッド誘導
3	前操作（相モデル）	ボディトリートメント/手の使用部位 流れ 前操作デモ・練習
4	ボディマッサージ 下肢後面 1	デモ（塗布から） 手技練習・拭取り練習
5	ボディマッサージ 下肢後面 2	前操作～ 下肢後面通し練習
6	ボディマッサージ 下肢後面 3	前操作～ 下肢後面通し練習
7	ボディ実技試験 成績評価①	ご案内-消毒-下肢後面マッサージ-ふき取り-誘導 ×2クール～4クール人数に応じて ※相モデル

8	フェイシャルエステティックとは 接客マナー（相モデル）	1コマ：1. フェイシャルエステティックの目的と効果 2. フェイシャルエステティックの流れ 1コマ：事前準備・基本動作・ベッド誘導
9	フェイシャルマッサージ 1	マッサージ導入・デモ ご案内-デコルテ1～7(美容技術)-HOTタオルふき取り(技術編Iプリント)
10	フェイシャルマッサージ 2	マッサージ導入・デモ ご案内-フェイシャル1～11(美容技術)-HOTタオルふき取り(技術編Iプリント)
11	フェイシャルマッサージ 3	クレンジング導入・デモ ご案内-全体クレンジング(ポイントなし)～マッサージ・ふき取り-整肌
12	フェイシャルマッサージ 4	通し練習 ご案内-フェイシャルクレンジング(技術編Iプリント)-マッサージ-ふき取り-整肌-誘導
13	フェイシャル実技試験 成績評価②	ご案内-フェイシャルクレンジング-マッサージ-ふき取り-整肌-誘導
14	マッサージ総合・マスク	1コマ：デモマスク塗布・ふき取り 通し練習 ご案内-消毒-クレンジング-マッサージ-マスク-ふき取り-整肌-誘導
15	総合授業	総まとめを行う

各回の展開【ベーシックメイク】

回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめ
14	フルメイク	フルメイクまとめ/振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ-D		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ-D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った補強を学び、JNAジェル検定初級取得から中級までの技術やデザインジェルをマスターし、サロンで接客のできる技術を習得する				
到達目標	基礎技術に加えてJNEC2級取得レベルに技術と共に JNAジェル検定初級に合格し、更に中級検定取得レベルを目指し、 サロンワークに対応できる技術を身に付ける				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級/JNAジェルネイル検定初級				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小山 寛子 他1名	実務経験	○		
実務内容	ネイリスト歴10年。 大手ネイルサロン勤務やトータルビューティーサロンでのネイルチーフのほか出張ネイルや自宅サロン等を経験。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材チェック 1年次復習	導入・教材チェック1年次復習
	導入・教材チェック 一年次復習	導入・教材チェック一年次復習
2	1年次復習	1年次復習
	一年次復習	一年次復習
3	1年次復習	1年次復習
	1年次復習	1年次復習

4	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを学ぶ
	2級検定説明 チップラップ	チップラップを学ぶ
5	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを練習する
	チップラップ 実技	チップラップ 実技
6	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを学ぶ
	2級後半 実技	2級後半 実技
7	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを練習する
	2級 通し	2級の実技を通して練習する
8	ジェルスカルプ 実技	ジェルスカルプチュアを学ぶ
	2級 通し	2級 通し
9	ジェルスカルプ 実技	ジェルスカルプチュアを練習する
	実技試験	2級内容
10	ジェル検定中級 第一課題 筆記試験	第一課題を通して練習する。 ジェルの筆記試験
	実技試験	実技試験
11	ジェル検定中級 第二課題	ジェル検定中級 第二課題
	筆記試験 トリートメント 実技	2級内容の筆記試験 トリートメントを学ぶ
12	ジェル検定中級 第二課題	ジェル検定中級 第二課題
	エンボスアート 実技	エンボスアートを学ぶ
13	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
	3Dアート 実技	3Dアートを学ぶ
14	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
	ミックスメディア アート	総合的なアートを作成する
15	総合授業	総まとめを行う
	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ－E		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ－E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ネイル⇒JNAテクニカルシステム ベーシック、ネイル用具一式 メイク⇒メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）		出版社	ネイル⇒NPO法人日本ネイリスト協会 メイク⇒ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイル⇒基礎的なマニキュア技術を実践でき、JNEC3級検定取得と様々なアート技術を学び、説明し実践できる メイク⇒スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	ネイル⇒ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、サロンワークで対応できる爪の補強やアートを習得 メイク⇒メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる				
評価基準	・ネイル(検定結果15%・授業態度他5%・筆記テスト15%・実技テスト15%) ・メイク(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト技能検定3級(任意)・JNAジェルネイル検定初級(任意) 2年4月 2年7～12月 メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容実践Ⅰ－E				
備考	・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・(ベーシックメイク) + (ネイル検定対策)				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	プレレーションデモ リペア(シルクラップ)デモ・実技	ラップ素材を使用して 爪の修正を学ぶ
2	2級検定説明(2級検定DVD) 2級検定実技	2級検定について説明し 受験希望者を確認
3	チップオン・チップラップデモ 相モデル	チップによる付け爪の習得
4	チップオン・チップラップ相モデル	
5	チップオン・チップラップ相モデル	
6	トリートメントデモ 相モデル・ケア・トリートメント	サロンワークに必要なトリートメント
7	エンボスアート	エンボスアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ

8	エンボスアート	エンボスアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
9	ミックスメディアアート	3Dアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
10	ミックスメディアアート	
11	チップラップ実技	テスト前に技術の再確認
12	実技試験（2級と同じ内容）	実技試験 J NEC2級検定受験内容に準じる
13	実技試験（2級と同じ内容）	実技試験 J NEC2級検定受験内容に準じる
14	筆記試験 実技練習	筆記試験 J NEC2級検定受験内容に準じる 実技試験の振り返り
15	総合授業	総まとめを行う

各回の展開【ベーシックメイク】

回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークA		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークA		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	将来サロンで実際に必要となるスキルを磨き、お客様に技術、デザインで喜んでもらうイメージを膨らませ、喜びを知る				
到達目標	頭の中でイメージしたスタイルデザインが形にできる トレンドをとらえたオシャレなカラーデザインができる				
評価基準	まとめ30% 総まとめ20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する				
担当教員	石山 遥子	実務経験		○	
実務内容	東京都内美容室にて9年勤務 Neolive Luca店店長				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション SHAMPOO	オリエンテーション 授業流れ伝達 SHAMPOO
2	SHAMPOO	バックSHAMPOO
3	SHAMPOO	バックSHAMPOO
4	LA KING	オリジナル授業 (カラーについて)
5	LA KING	オリジナル授業 (カラーについて)
6	LA KING	オリジナル授業 (ハイトーンについて)
7	LA KING	オリジナル授業 (ハイトーンについて)

8	LA KING	オリジナル授業（デザインカラーについて）
9	LA KING	オリジナル授業（デザインカラーについて）
10	LA KING	オリジナル授業（デザインカラーについて）
11	LA KING まとめテスト	オリジナル授業（カラーのまとめテスト）
12	B×S	B×S準備
13	B×S	B×S準備
14	SHAMPOO	SHAMPOO
15	総まとめテスト	SHAMPOO総まとめテスト

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークB		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		120
使用教材	ABEtextbook Eyelash extensions Assistant director		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	アイラッシュ施術に対しての知識・技術を身に付ける				
到達目標	ABE Eyelash extensions Assistant director認定試験合格レベル				
評価基準	総まとめ：50% 筆記まとめ：25% 授業態度：25%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	ABE Eyelash extensions Assistant director認定試験（任意受験）				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する				
担当教員	大林 万莉菜 他1名	実務経験		○	
実務内容	三重県内美容室7年勤務経験あり。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・道具確認 ・まつ毛エクステンション概論（座学） ・ワゴンセッティング（実技） 	美容師免許を取得する必要性 頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格器系の演習（国家試験過去問題）と解説
2	<ul style="list-style-type: none"> ・まつ毛エクステンション用具（座学） ・衛生と消毒（実技） ・まつ毛エクステンション技術（実技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・用具理論 ・手指消毒・用具の消毒 ・ワゴンセッティング ・衛生管理理論
3	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理（座学） ・まつ毛エクステンション技術（実技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・グルーの取り扱い・使用方法 ・紙での装着練習
4	<ul style="list-style-type: none"> ・保健（眼）（座学） ・まつ毛エクステンション装着（実技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健（眼）理論 ・グルーの取り扱い・使用方法 ・紙での装着タイム（提出）
5	<ul style="list-style-type: none"> ・保健（皮膚・まつ毛）（座学） ・まつ毛エクステンション装着（実技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健（皮膚・まつ毛）理論 ・Jカールの装着
6	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリング（座学） ・テーピング（座学） ・リムービング（座学） 	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリング理論 ・テーピング理論 ・リムービング理論
7	<ul style="list-style-type: none"> ・小まとめ（座学） ・まつ毛エクステンション装着（実技） ・テーピング、リムービング（実技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小まとめ（1章～3章） ・検定用装着の練習 ・テーピング・リムービングの練習

8	<ul style="list-style-type: none"> ・まつ毛エクステンション装着（実技） ・テーピング、リムービング（実技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・検定の流れ（テーピング・リムービング・装着）
9	<ul style="list-style-type: none"> ・小まとめ（座学） ・タイムトライアル（実技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小まとめ（4章～5章） ・実技復習
10	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン（座学） ・デザイン（実技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインの理論 ・デザインの練習（キュート）
11	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン（実技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインの練習（セクシー）
12	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムトライアル（実技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技復習
13	<ul style="list-style-type: none"> ・復習 ・まとめ準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・座学、実技の復習 ・まとめ仕込み準備
14	<ul style="list-style-type: none"> ・総まとめ（筆記・実技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・試験同様の内容でのまとめ（プレ試験）
15	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り ・試験準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ（筆記・実技）の振り返り ・試験仕込み準備

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークC		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークC		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	ウエディングプランナーテキスト・ヘアアレンジ教材一式		出版社	本ウエディングプランナー・ネットワーク協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルの知識とアレンジ技術を備え身につける				
到達目標	AWP検定の合格基準を目指す。ブライダルでのアレンジ技術の向上				
評価基準	実技まとめ：40% 筆記まとめ：40% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	アシスタントウエディングプランナー検定				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する				
担当教員	田中裕美 他2名	実務経験		○	
実務内容	日置美容室にて3年勤務、ブライダルサロンにて4年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ブライダル知識 ヘアアレンジ	業の目的、ヒューマン概論・歴史を知る 日本髪・ブロッキング構成・展示
2	ブライダル知識 ヘアアレンジ	言葉を伝える・魅力を伝える 日本髪・展示・練習
3	ブライダル知識 ヘアアレンジ	復習プリント・接客概論・ロールプレイング 日本髪・展示・練習
4	ブライダル知識 ヘアアレンジ	実務概論・挙式披露宴の流れ 日本髪・展示・練習
5	ブライダル知識 ヘアアレンジ	テーブルプラン・クリエイティブ概論・セールスプロモーション 日本髪・全頭練習
6	ブライダル知識 ヘアアレンジ	マーケットの把握・飲食概論 日本髪タイム45分
7	ブライダル知識 ヘアアレンジ	小テスト・復習 日本髪タイム45分

8	ブライダル知識 ヘアアレンジ	ブライダルパートナー・花の役割 日本髪テスト・フィードバック
9	ブライダル知識 ヘアアレンジ	ブライダルにおける花の役割 洋アレンジ・展示・練習
10	ブライダル知識 ヘアアレンジ	感動のステージへ・婚礼衣装 洋アレンジ・展示・練習
11	ブライダル知識 ヘアアレンジ	撮影・音響・照明・司会・結婚指輪 自由作品デザイン画・練習
12	ブライダル知識 ヘアアレンジ	検定に向けた学習プリント 自由作品・練習
13	ブライダル知識 ヘアアレンジ	アシスタントウェディングプランナー検定 自由作品完成・テスト
14	ブライダル知識 ヘアアレンジ	検定のフィードバック・判定試験に向けて 相モデル・ブライダルヘア
15	ブライダル知識 ヘアアレンジ	ブライダルマップの作製 相モデル・ブライダルヘア

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークD		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークD		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		120
使用教材	ABEtextbook Eyelash extensions Assistant director		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	アイラッシュ施術に対しての知識・技術を身に付ける				
到達目標	ABE Eyelash extensions Assistant director認定試験合格レベル				
評価基準	総まとめ：50% 筆記まとめ：25% 授業態度：25%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	ABE Eyelash extensions Assistant director認定試験（任意受験）				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する				
担当教員	大林 万莉菜 他1名	実務経験		○	
実務内容	三重県内美容室7年勤務経験あり。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・道具確認 ・まつ毛エクステンション概論（座学） ・ワゴンセッティング（実技） 	美容師免許を取得する必要性 頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格器系の演習（国家試験過去問題）と解説
2	<ul style="list-style-type: none"> ・まつ毛エクステンション用具（座学） ・衛生と消毒（実技） ・まつ毛エクステンション技術（実技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・用具理論 ・手指消毒・用具の消毒 ・ワゴンセッティング
3	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理（座学） ・まつ毛エクステンション技術（実技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理理論 ・グルーの取り扱い・使用方法 ・紙での装着練習
4	<ul style="list-style-type: none"> ・保健（眼）（座学） ・まつ毛エクステンション装着（実技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健（眼）理論 ・グルーの取り扱い・使用方法 ・紙での装着タイム（提出）
5	<ul style="list-style-type: none"> ・保健（皮膚・まつ毛）（座学） ・まつ毛エクステンション装着（実技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健（皮膚・まつ毛）理論 ・Jカールの装着
6	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリング（座学） ・テーピング（座学） ・リムービング（座学） 	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリング理論 ・テーピング理論 ・リムービング理論
7	<ul style="list-style-type: none"> ・小まとめ（座学） ・まつ毛エクステンション装着（実技） ・テーピング、リムービング（実技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小まとめ（1章～3章） ・検定用装着の練習 ・テーピング・リムービングの練習
8	<ul style="list-style-type: none"> ・まつ毛エクステンション装着（実技） ・テーピング、リムービング（実技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・検定の流れ（テーピング・リムービング・装着）

9	<ul style="list-style-type: none"> ・小まとめ（座学） ・タイムトライアル（実技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小まとめ（4章～5章） ・実技復習
10	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン（座学） ・デザイン（実技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインの理論 ・デザインの練習（キュート）
11	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン（実技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインの練習（セクシー）
12	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムトライアル（実技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技復習
13	<ul style="list-style-type: none"> ・復習 ・まとめ準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・座学、実技の復習 ・まとめ仕込み準備
14	<ul style="list-style-type: none"> ・総まとめ（筆記・実技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・試験同様の内容でのまとめ（プレ試験）
15	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り・試験準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ（筆記・実技）の振り返り ・試験仕込み準備

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークE		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークE		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材		出版社			

科目の基礎情報②

授業のねらい	【スチール撮影実習Ⅰ】写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によってはの注意点を理解し、実践力を身につける 【SNS・WEB・フォトスキル】美容業界の現状やニーズを把握し、SNS・WEB・フォトスキルを活用したマーケティング・集客を理解し実践できるようになる				
到達目標	色・光・影の出方によるメイク映えを知る。撮影中の注意事項を理解する				
評価基準	まとめ：50% 提出物：30% 授業意欲：20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 光と影について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	写真のバランス・レイアウト	レイアウトやモデルのポージングについて
3	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影カメラの構え方やレンズの使い方を知る
4	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影露出補正を使いながら意図する明るさで撮る
5	カメラの使い方	撮影のフィードバックとレンズワークによる遠近感の変化絞りやレンズワークによる背景のボケ方の説明
6	レフの使い方	レフを使った撮影練習
7	レフの使い方	レフを使った撮影練習

8	画像撮影、加工の基礎	講義+実践
9	写真の撮影について	基礎的な技法の講義と実践
10	写真の撮影について	基礎的な技法の講義と実践
11	動画の撮影について	基礎的な技法の講義と実践
12	動画の撮影について	基礎的な技法の講義と実践
13	動画の撮影について	基礎的な技法の講義と実践
14	まとめ	作品作りに合わせたまとめ、振り返り
15	総合授業	まとめを行う